

2025 年 10 月 23 日

一般社団法人Jミルク

乳の学術連合

乳の価値再発見! 研究成果 17 題発表

11 月 29 日に学術研究集会「ミルク कांग्रेस」

Jミルクと、牛乳・乳製品や酪農乳業に関わる研究者や専門家などで作る「乳の学術連合」は、11 月 29 日(土)に東京都千代田区の TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町で、学術研究集会「ジャパンミルク कांग्रेस 2025」を下記の要領で開催します。

乳の学術連合では、乳の健康・栄養面の価値や社会・文化的な意義の解明、価値や意義を伝えるための食育など多様な研究活動を行っており、その研究成果を酪農乳業関係者に発表します。乳の学術連合を中心に、日本酪農科学会との連携による食品科学分野の研究成果も含めた、口頭 4 題、ポスター 13 題の計 17 題を発表予定です。クリスティナ・ワリナー・米ハーバード大学教授による特別講演なども予定しています。

記

- 日時 2025 年 11 月 29 日(土)
学術研究集会 10 時 30 分 ~ 16 時 40 分 (受付開始 10 時~)
情報交換会 16 時 45 分 ~ 18 時 30 分
※時間は今後変更する可能性があります
- 会場 TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町
(東京都千代田区神田錦町 3 丁目 22 テラススクエア 3 階)
- 主催 一般社団法人Jミルク
- 協力 乳の学術連合、日本酪農科学会
- 後援 農林水産省、独立行政法人農畜産業振興機構、一般社団法人日本骨粗鬆症学会、一般社団法人日本在宅栄養管理学会、健康日本 21 推進全国連絡協議会、公益財団法人学校給食研究改善協会、公益財団法人骨粗鬆症財団、公益社団法人全国学校栄養士協議会、公益社団法人日本栄養士会、特定非営利活動法人日本栄養改善学会、日本教科教育学会、日本農業経済学会、日本フードシステム学会、日本酪農教育ファーム研究会、日本酪農乳業史研究会
- 主な参集対象 乳の学術連合会員、酪農乳業関係者、医師、栄養士、学校教職員、研究者、メディア・ジャーナリストなど
- 参加費 無料

■ 申し込み 参加される方は、下記から申し込みをお願いいたします。

(当日取材される方も、申し込みをお願いいたします)

<https://m-alliance.j-milk.jp/jmilk-news/2025news/detail/0606.html>

申し込み締め切り 2025 年 11 月 20 日(木)

■ 当日プログラム(予定)

時刻	内容
10:30	開会あいさつ(一般社団法人Jミルク会長 大貫 陽一)
10:45	口頭発表①(牛乳乳製品健康科学) 「牛乳乳製品の摂取が糖尿病患者の血糖コントロールや合併症発症リスクに及ぼす影響:大規模コホート研究」 演者:大隈 俊明(九州大学大学院 医学研究院 病態機能内科学 講師) 座長:川原 貴(一般社団法人大学スポーツ協会 副会長) 「乳製品の摂取量や摂取時間帯、光暴露が生体リズムや睡眠の質、身体活動量の向上に与える影響に関する研究」 演者:田村 典久(広島大学大学院 人間社会科学研究科 准教授) 座長:小川 純人(東京大学大学院 医学系研究科加齢医学講座 教授)
11:45	特別展示発表
12:15	昼食休憩 ポスター会場開場(自由閲覧)
13:05	ポスター発表
14:05	特別講演(ビデオ講演) 「人類の酪農史におけるラクターゼ持続性の拡がり腸内細菌叢の適応」 演者:クリスティナ・ワリナー (Professor, Department of Anthropology and Human Evolutionary Biology, Harvard University) 司会:庄田 慎矢(奈良文化財研究所 企画調整部国際遺跡研究室 室長)
15:15	休憩
15:30	口頭発表②(牛乳食育研究会、乳の社会文化ネットワーク) 「オンライン版牛乳アレルギー児アドヒアランス向上プログラムの作成 -心因的牛乳アレルギーの克服へ-」 演者:小西 瑞穂(東京成徳大学 応用心理学部 准教授) 座長:柴 英里(東洋大学 食環境科学部 准教授) 「近代ロンドンにおける都市空間変遷からみた搾乳業史の基礎的研究」 演者:金谷 匡高(法政大学 江戸東京研究センター 客員研究員) 座長:生源寺 真一(東京大学 名誉教授)
16:30	閉会あいさつ(乳の学術連合委員長 中村 丁次)
16:40	閉会
16:45	情報交換会

(プログラムは今後、変更になる場合があります)

(ポスター発表演題 発表コアタイム 13:05~14:05)

<牛乳乳製品健康科学>

H-1「乳児小腸上皮による乳細胞外小胞認識と応答の分子基盤の解析」

大島 健司(名古屋大学大学院 生命農学研究科 助教)

H-2「牛乳に含まれるエクソソーム成分がワクチン予防効果に与える影響」

押海 裕之(熊本大学大学院 生命科学研究部 教授)

H-3「ミルク中に含まれる中鎖脂肪酸の意義の解明」

善本 亮(麻布大学 獣医学部 教授)

H-4「牛乳・乳製品の日常的摂取はサルコペニアとフレイルの発生リスクを低減するか –大規模無作為 標本コホート研究–」

立木 隆広(高知県立大学 看護学部 教授)

H-5「長期に継続して乳和食を摂取した女子バレーボール競技者の体幹、下肢筋力、疲労感などに対する影響、介入研究」

風見 公子(東京聖栄大学 健康栄養学部 教授)

<乳の社会文化ネットワーク>

N-1「モンゴル遊牧民の乳、乳製品利用とそのおいしさの認識」

石井 智美(酪農学園大学 名誉教授)

N-2「昭和戦前期北海道の冷害・凶作期と酪農事業 –1930年代における根釧原野開発を事例として–」

井上 将文(北海道大学 文学研究院 専門研究員)

<牛乳食育研究会>

E-1「牛乳・乳製品や牛乳を使った料理の栄養素及び機能性成分を3Dデジタル技術により表示するシステムの開発とその栄養教育効果の検証」

カバリエロ 優子(宇都宮大学 共同教育学部 准教授)

E-2「小学校低学年のヘルス・プロモーション実現に向けた「乳」に関する理科読の活用 ~学校図書館を「知の拠点」としたカリキュラム・マネジメント~」

大貫 麻美(白百合女子大学 人間総合学部 教授)

E-3「『乳』を多面的視点から学ぶ総合学習単元の開発と評価 –『生産者』『流通(社会経済)』『消費者』の3つの視点から–」

澤邊 潤(新潟大学 創生学部 准教授)

<日本酪農科学会>

D-1「腸内細菌によるシアロオリゴ糖資化性のカタログ化」

西山 啓太(東北大学大学院 農学研究科 准教授)

D-2「カビタイプチーズ製品に含まれる生理活性を有する二次代謝物とその生産菌株の特性解析」

竹田 志郎(麻布大学 獣医学部 准教授)

D-3「科学的視点から見た A2 ミルクの特性と生乳資源の価値について」

佐藤 薫(日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 教授)

※上記の研究発表者・研究テーマは、2025年9月現在のものです。

※詳細は、乳の学術連合ホームページ(<https://m-alliance.j-milk.jp/jmilk-news/2025news/detail/0606.html>)に掲載しています。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人Jミルク内 乳の学術連合事務局

東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 御茶ノ水安田ビル 5 階

電話:03-5577-7494